

**対話形式で学ぶ**

**深谷市公共施設等総合管理計画  
深谷市公共施設適正配置計画**



**深谷市企画財政部  
公共施設改革推進室**

# もくじ

●はじめに	…	2
●これまでの歩み	…	3
●問題を解決するために	…	5
●計画の具体的な推進	…	7
●取組の状況	…	9

この冊子では、ふっかちゃんと郷土の偉人である渋沢栄一翁の対話形式により、「深谷市公共施設等総合管理計画」と「深谷市公共施設適正配置計画」の内容について、紹介します。

# はじめに

## ●いま、なぜ公共施設が注目され始めているのか



今日は、何を教えてくれるのかな？

深谷市の公共施設についてだよ。



なんだろう？すごく楽しみだな。

ふっかちゃんは、このニュースを覚えているかな。



平成24年12月に起きた中央自動車道笹子トンネルの天井板落下事故。多くの犠牲者を出したこの痛ましい事故の原因の一つは、天井板を支えるボルトの老朽化と点検不足にあると言われています。この事故が一つの契機となって、公共施設の老朽化について注目されるようになりました。

## ●これまでの取組について

市では、平成23年度にプロジェクトチームを設置し、類似施設の統廃合の必要性と将来を見据えた施設の在り方を検討しました。その結果、保有するすべての施設を維持し続けることは、今後の財政運営にとって大きな負担となることが明らかとなりました。

平成24年度には、施設の在り方の基本的な考え方を示す「公共施設適正配置基本方針」を定め、その翌年には、在り方の検討資料として「公共施設白書」を作成しました。

これらをもとに、平成27年度には、今後の施設の方針を示す「公共施設等総合管理計画」と「公共施設適正配置計画」を策定し、財政健全化に向けた歩みを進めています。

平成24年度 深谷市公共施設適正配置基本方針

→今後のハコモノの在り方についての基本的な考え方

平成25年度 深谷市公共施設白書

→ハコモノの概要や利用・コスト状況をまとめたもの

平成27年度 深谷市公共施設等総合管理計画

→平成64年度までのハコモノと土木インフラの長期方針を示すもの

深谷市公共施設適正配置計画

→平成34年度までのハコモノの短期方針を示すもの



# これまでの歩み

## ●公共施設ってなに！？



そもそも、公共施設ってどんな施設を言うのかな？

学校、公民館などのハコモノ(建物)と道路、上下水道などのインフラのことだよ。



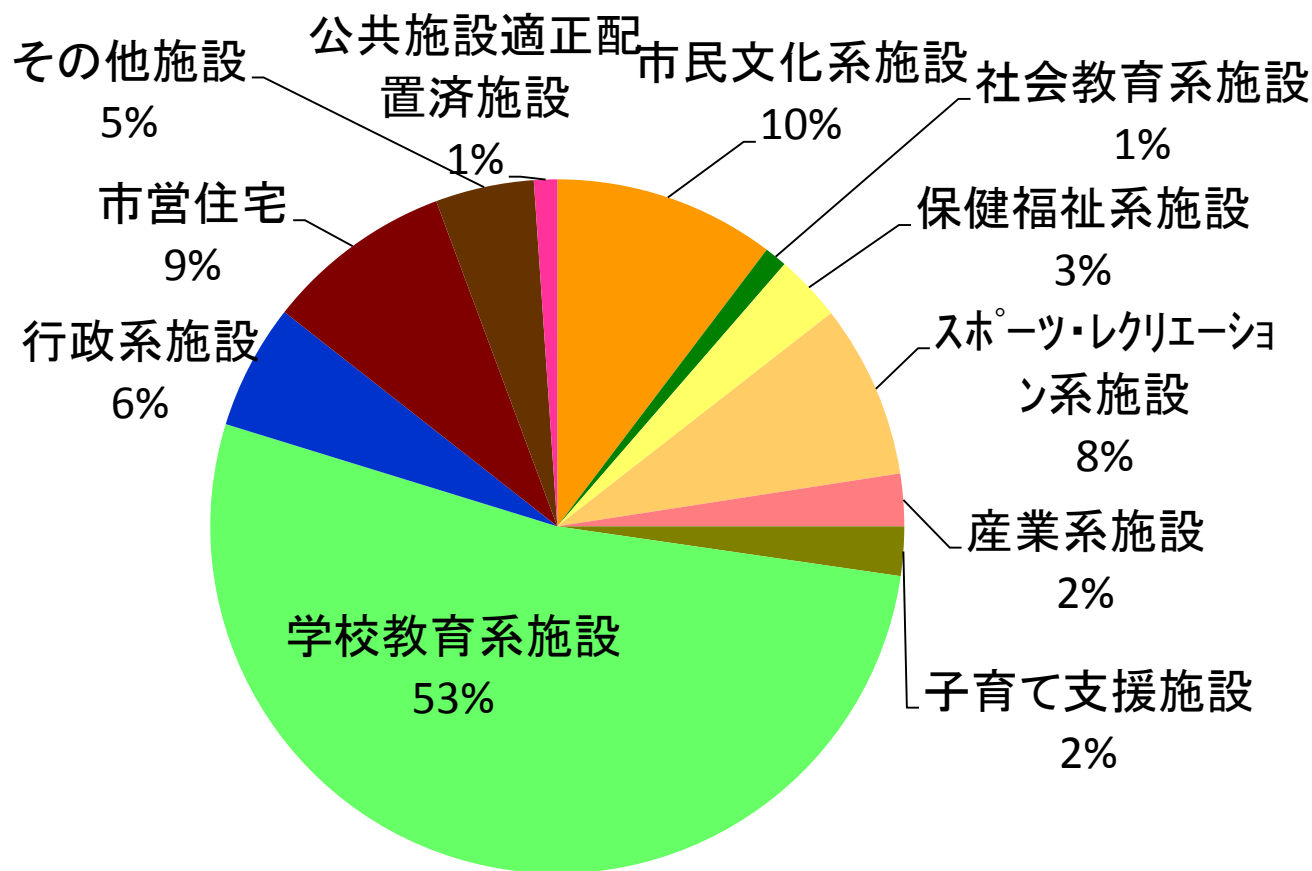
じゃあ、深谷市には、どれくらいの施設があるの？

ハコモノの数は164施設。総延床面積は約35万㎡。インフラは、それぞれ下の表のようになっているよ。



### ○ハコモノ

#### ◆建物の保有量(延床面積)



#### ◆主なハコモノ

- ・市民文化系施設(公民館、文化会館)
- ・社会教育系施設(図書館、渋沢栄一記念館)
- ・保健福祉系施設(老人福祉センター、保健センター)
- ・スポ・レク系施設(総合体育館、農業者トレーニングセンター)
- ・産業系施設(多目的センター、物産館)
- ・子育て支援施設(保育園、学童保育室)
- ・学校教育系施設(幼稚園、小中学校)
- ・行政系施設(本庁舎、消防本部)
- ・市営住宅(市営住宅)
- ・その他施設(深丘園、衛生センター)

### ○インフラ資産

#### ◆インフラ資産の保有量

分類	種別	施設数量など
道路	市道	2,230km
	橋梁	1,161橋
上水道	施設数	11施設
	水道管	1,080km
下水道	施設数	29施設
	污水管	450km
	雨水管	88km
	農集	293km
公園	施設数	120施設



深谷市のハコモノの量は、多いのかな？それとも少ないのかな？

一概には言えないけど、少なくとも合併により同種・同機能の施設が複数あるってことは言えるね。



# ●公共施設の問題とは！？



保有量はわかったけど、公共施設の何が問題なのかな？

ズバリいうと、それは“老朽化”だよ。



老朽化？いつも気持ちよく使わせてもらっているよ。

市のハコモノのうち、およそ6割が建築後、30年以上経過しているんだよ。  
一般に、施設は30年程度を目途に、大規模改修が必要なんだ。



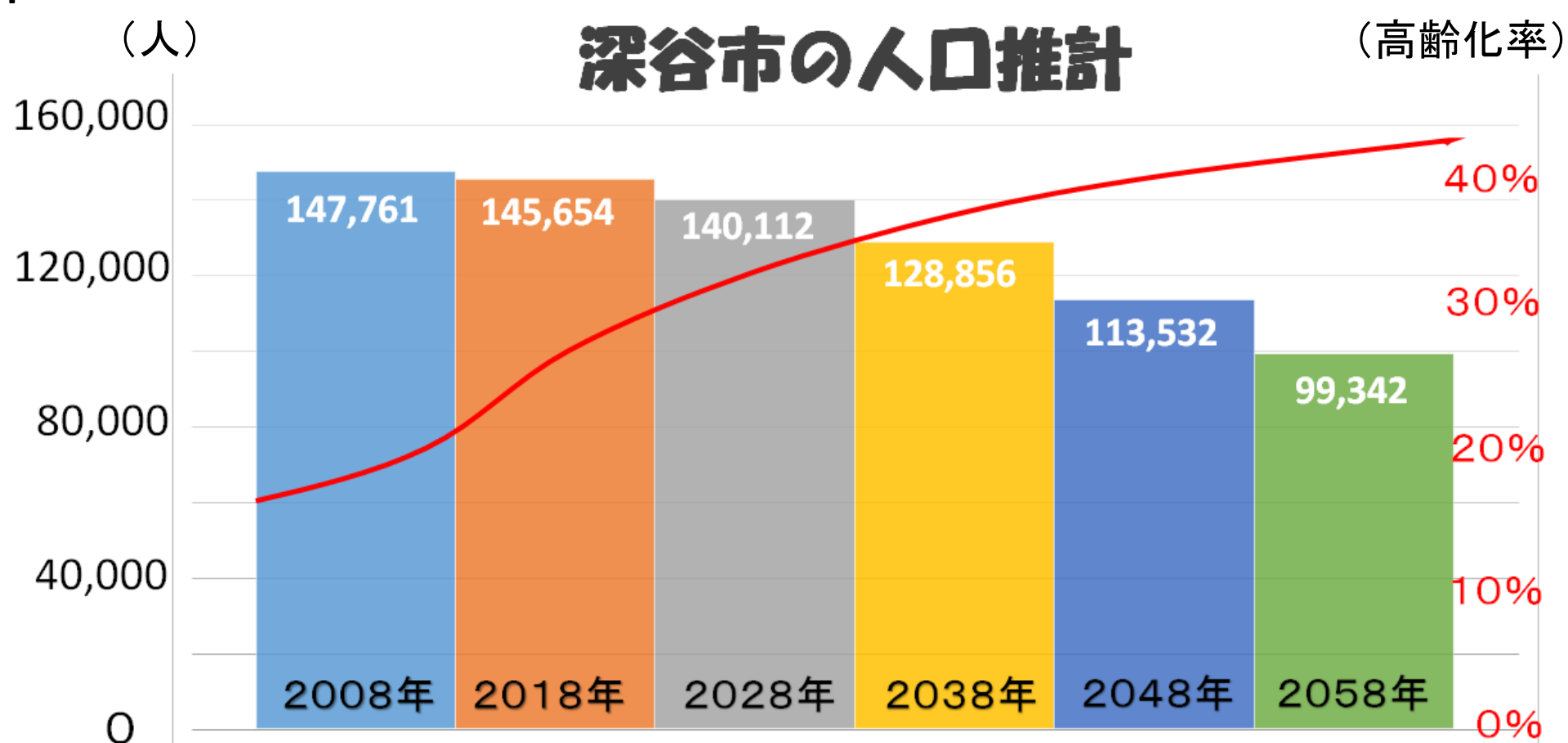
たくさんの施設があるから、大変だね。

そうなんだよ。人口減少と高齢化に伴って、財政状況も更に厳しくなるからね。



## ○将来人口推計

高齢化率の更なる上昇と人口減少が予想される。



## ○更新費用の不足額

単位(億円)

	総額 (今後40年)	平均金額	過去(*)の 平均費用年額	不足額
ハコモノ	1,463	36.5	28.5	8.0
インフラ	3,266	81.6	29.8	51.8
合計	4,729	118.1	58.3	59.8

平均すると  
1年あたり  
60億の不足

※ハコモノは、過去3年、インフラは過去5年の平均費用年額による



# 問題を解決するために

## ●問題を解決するための基本方針



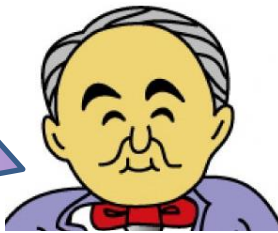
施設の老朽化対策とそのための費用のやりくりが問題なんだね。

それに加えて、時代に合わせた利用者の声にも応えていく必要があるんだ。



課題がいっぱいだ。キチンと計画を立てて管理しないと大変じゃないかな。

そう。そのための方針をしっかり立てているよ。



## ○公共施設等のマネジメント方針

### ○基本的な考え方

全市的な視点に立ち、市民サービスの水準を維持しつつ長期的な公共施設等の更新・統廃合・長寿命化などにより、公共施設の適正配置を推進する。

### ○マネジメント方針

ハコモノ：深谷市公共施設適正配置基本方針(平成24年11月策定)による7つの柱に基づき、計画を推進する。

- ① 施設の仕分け(統廃合)を行う
- ② 多機能化、複合化を図る
- ③ 原則として新たな施設は建設しない
- ④ 既存施設の優先順位付けと計画的な保全による長寿命化
- ⑤ 市民ニーズの変化に対応できる構造の採用
- ⑥ 市民協働・官民連携の推進
- ⑦ 組織横断的部署による一元的な管理

土木インフラ：廃止や転用が難しいことから、維持を前提に長寿命化を図る。



施設の在り方を考えるうえでの柱(方針)を定めたんだね。

そうなんだ。方針についてももう少し説明するよ。



●計画期間と削減目標

今後の財政見通しや人口の推移予測を踏まえ、平成25年度から平成64年度までの40年間にハコモノについては、総延床面積の25%を削減する。

土木インフラについては、計画的な取組による費用の平準化や長寿命化を図る。

○ハコモノの削減目標の設定根拠

$$\begin{array}{|c|} \hline 40年間の推計予算 \\ \hline 約1,140億円 \\ \hline \end{array} - \begin{array}{|c|} \hline 40年間の推計更新費用 \\ \hline 約1,463億円 \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline 不足する更新費用 \\ \hline 約▲323億円 \\ \hline \end{array}$$


○ これを床面積に換算すると、約77,300㎡の削減が必要ということになります。

$$\begin{array}{|c|} \hline 総延床面積 \\ \hline 約350,000㎡ \\ \hline \end{array} \times \frac{\begin{array}{|c|} \hline 不足費用 約323億円 \\ \hline \hline 更新費用 約1,463億円 \\ \hline \end{array}}{\begin{array}{|c|} \hline 更新費用 約1,463億円 \\ \hline \end{array}} = \begin{array}{|c|} \hline 削減が必要な床面積 \\ \hline 約77,300㎡ \\ \hline \end{array}$$

○ 削減が必要な床面積割合から、削減目標を設定します。

$$\frac{\begin{array}{|c|} \hline 削減が必要な床面積 約77,300㎡ \\ \hline \hline 総延床面積 約350,000㎡ \\ \hline \end{array}}{\begin{array}{|c|} \hline 総延床面積 約350,000㎡ \\ \hline \end{array}} \times 100 \div 22.1\% \rightarrow \begin{array}{|c|} \hline 25\% \\ \hline \end{array}$$

**総延床面積の25%を削減!**



●全庁的な取組体制の構築と情報共有

各課が保有する施設情報の一元化や、複数の課に関係する施策を効率的に進めるため、全庁的な組織による総合調整と先導による推進を進める。

●長寿命化への取組と安全確保・耐震化

施設を継続的に安全・安心に使用するために、定期的な日常点検を等により長寿命化を図る。

また、施設の耐震化対策については、関連する計画に基づき、適宜対応していく。

●公共施設等の適正な配置と活用に向けた取組

近隣自治体との連携や共同運営も視野に入れた協議を進める。

また、指定管理者制度の導入など民間活力の導入を進める。



いろいろあるんだね。もっと知りたくなっちゃった。

詳しくは、「深谷市公共施設等総合管理計画」のP26～28に載っているよ。



# 計画の具体的な推進



今後の方針に基づいて、それぞれの施設はどうなるの？

施設の用途別に平成64年度までの40年間の施設の長期方針を定めているよ。  
ここでは、その方針に基づいた平成34年度までの具体的な計画を紹介するよ。



## ●ハコモ/について

○25%の削減に向けて、平成34年度までに7%の実現を目指します。  
合併により、同種、同機能の施設などを中心に複合化等を進め、総延床面積の7%の縮減を目指します。

※総延床面積の25%の削減に向けて、施設の用途別に長期方針を定めています。  
ここでは、長期方針に基づいた、具体的な短期方針のうち主なものを紹介します。

### ○新庁舎の建設に伴う集約化(廃止)

耐震性の不足から、建替えを行う本庁舎建設に伴い、教育庁舎、南別館、岡部総合支所に分散している部局を集約し、市民の皆様の利便性の向上と施設運営の効率化を図る。

### ○公民館の建設に伴う集約化(廃止)

現在建替えを予定している岡部公民館と川本公民館については、図書館や総合支所など代替可能な機能を持つ施設を集約化し、市民の皆様の利便性の向上と施設運営の効率化を図る。

### ○老人福祉センターの集約化

現在、市内に5か所ある老人福祉センターについて、老朽化をはじめ利用者の減少が見られるため、比較的新しい2か所(福寿荘、もくせい館)に集約を行う。

### ○幼稚園の集約化

少子化に伴う就学前の児童の更なる減少や保育ニーズの多様化が見込まれることから、全市的な視点に立ち統廃合を検討する。

### ○市民体育館の廃止

施設の老朽化が進んでおり、公民館体育室等で代替が可能であるため、大規模改修が必要になった時点で廃止する。

### ○市営住宅の廃止

原郷、天神町、薬師堂、桃園、見晴町、錦町の6施設については、耐用年数が経過しており、老朽化が進んでいることから、現入居者の退去の後、廃止する。

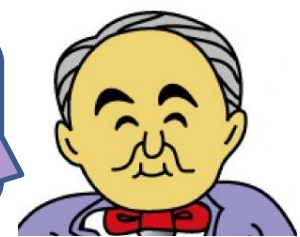


# ●土木インフラについて



土木インフラはどうなっているのかな？

次のようになっているよ。



## ○道路、河川等

幹線道路の整備については、幹線道路網計画を策定し、計画的な道路整備を目指す。生活道路の整備や維持管理については、必要な整備路線の選定や計画的な維持管理に努めるものとし、コストの平準化を図る。

河川、排水路については、計画的かつ無理のない河川改修を進めるとともに、内水はん濫を防止するための排水機場施設についてはストックマネジメントを適切に行い、コストの平準化を図る。

農業水利施設(ため池)については、管理主体の維持管理、点検及び負担により、必要に応じて耐震化等の検討を行い、防災面に配慮しつつ計画的な維持管理、監視を行いコストの平準化や安全を図る。

## ○橋梁

「深谷市長寿命化修繕計画」(平成25年3月策定)に基づき、長寿命化修繕を実施するほか、その他の橋梁について、引き続き定期点検を実施し、その結果に基づき計画的かつ予防的な修繕対策を行うとともに、長寿命化を図りつつ将来コストの削減及び平準化を目指す。

## ○上水道

深谷市地域水道ビジョンで示している方針に基づき、老朽化した配管の計画的な更新事業を進めるとともに、施設の適正な維持管理を行いトータルコストの平準化を目指す。

## ○下水道

上位計画に基づき、より効果的な下水道管の整備を計画的に推進する。

また、長寿命化対策や計画的な更新を行うことで、適正は維持管理を実施し、コストの適正化を目指す。

## ○公園

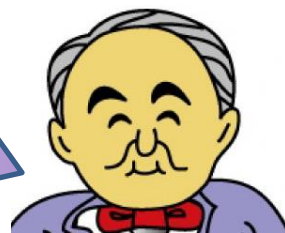
遊具等の点検や計画的な修繕など、施設の適正な維持管理の実施によりコスト適正化を目指す。また、大規模な修繕、更新が必要な施設については、「深谷市緑の基本計画」(平成22年3月策定)等を踏まえて、施設整備やその在り方について検討する。

# 取組の状況



これまでに、どんなハコモノの適正配置が行われたの？

いくつか紹介すると、次の施設だよ。



## ○これまでの取組状況

- 廃止  
市役所第二庁舎、深谷コミュニティセンター、松寿園、産業会館
- 民営化  
たんぽぽ作業所、つくしの家、藤沢保育園、豊里保育園
- 集約化  
保健センター(旧3町)



現在の取組としては、どんなことが進んでいるのかな？

今進めている内容としては、こんなものがあるよ。



## ○現在進めている取組

- 新庁舎の建設による集約化(本庁舎、教育庁舎、南別館など)
- 岡部公民館の建替えによる複合化(公民館、総合支所、図書館など)
- 川本公民館の建替えによる複合化(公民館、総合支所、図書館など)
- 消防分署(藤沢・豊里・岡部・川本)の建替えによる耐震化



公共施設のことについて、もっと知りたいなあ。

市役所(公共施設改革推進室)のかたに、聞いてみるといいよ。





# ●より多くの皆様に知っていただくために



この冊子で、お伝えしてきた公共施設の老朽化と財政負担の問題。

この問題を、より多くの市民の皆様に知っていただくために、その内容をマンガにしました。

## ●市民協働事業により作成

作成にあたっては、埼玉工業大学のマンガ研究会に所属する石川賢さんの御協力を頂き、市民協働事業として作成をしました。



どんなストーリーなのかな？

# さあ、はじめよう

少し、紹介するよ。



## ●ストーリーの紹介

とある大学生に舞い込んだマンガ作成依頼

その内容は、「公共施設の老朽化と財政負担」について



ホームページを  
チェック！！

どうする！？  
どうなる！？



深谷市に迫る公共施設の老朽化の波

未来の深谷のために必要なものとは・・・



**深谷市公共施設等総合管理計画  
深谷市公共施設適正配置計画  
ダイジェスト版**

**〒366-8501 深谷市仲町11番1号  
深谷市 企画財政部公共施設改革推進室  
☎048-571-1211  
平成29年7月**